

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>年 月 日</p> <p>名古屋市長 様</p> <p>提出者 住 所：愛知県名古屋市東区泉1-8-19 氏 名：真柄建設株式会社 名古屋営業所 所長 尾浦 昭二 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 052-961-8521</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	真柄建設株式会社 名古屋営業所
事業場の所在地	愛知県名古屋市東区泉4-4-63
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	売上高249億円
③ 従業員数	253名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各工事現場→収集運搬業者へ委託→中間処理場または最終処分場へ委託処理

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙参照の事

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排 出 量	2381t	70t
	(これまでに実施した取組) コンクリート、アスファルト、木くず等分別回収に努め再資源化する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排 出 量	2238t	65t
	(今後実施する予定の取組) 現状通りの取り組みを行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート、アスファルト、木くず等分別回収に努め再資源化する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状通りの取り組みを行う。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

紙くず	木くず	金属くず	がれき類
29t	40t	10t	99t

【目標】

紙くず	木くず	金属くず	がれき類
27t	37t	9t	93t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

ガラスくず、陶磁器く	安定型	管理型	
102t	25t	78t	

【目標】

ガラスくず、陶磁器く	安定型	管理型	
96t	23t	73t	

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量 する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項			
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	2381t	70t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	70t
	再生利用業者への処理委託量	2381t	70t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・産廃処理施設の現地確認。 ・産廃処理委託契約書の社内審査及び指導。 ・電子マニフェスト使用業者に委託。 ・リサイクル率の高い処理業者との契約・排出をする。		

【前年度（      年度）実績】			
t	t	t	t

【目標】			
t	t	t	t

【前年度（令和5年度）実績】			
紙くず	木くず	金属くず	がれき類
29t	40t	10t	99t
29t	40t	10t	99t
29t	40t	10t	99t
t	t	t	t
t	t	t	t

【前年度（      年度）実績】			
t	t	t	t

【目標】			
t	t	t	t

【前年度（令和5年度）実績】			
ガラスくず、陶磁器くず	安定型	管理型	
102t	25t	78t	t
102t	25t	78t	t
102t	25t	78t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	2238t	65t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2238t	65t
	再生利用業者への 処理委託量	2238t	65t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状通りの取り組みを行う。		
※事務処理欄			

【目標】			
紙くず	木くず	金属くず	がれき類
27t	37t	9t	93t
27t	37t	9t	93t
27t	37t	9t	93t
t	t	t	t
t	t	t	t

【目標】			
ガラスくず、陶磁器くず	安定型	管理型	
96t	23t	73t	t
96t	23t	73t	t
96t	23t	73t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

